

ふかがわ 市議会 だより

第1回臨時会(令和7年1月29日)

第1回定例会(令和7年3月3日~21日)

- ◆新年度の予算が決まりました……………2~3P
- ◆可決した条例、補正予算など……………4~6P
- ◆地域おこし協力隊との意見交換会……………7P
- ◆一般質問……………8~15P

政務活動費収支報告……………16P

No. 260 2025・5

発行 深川市議会 令和7年5月1日発行
編集 広報編集委員会

議会報告会を
開催します

議会報告会

6月3日(火)

18時~19時30分

経済センター
3階 多目的ホール



Pick Up

一般会計 議会が特に審査を深めたものや新規・重点事業の一部を紹介



ベビーケアルームのイメージ
6,893万円
デ・アイのベビーケアルーム設置等
市民が安心して快適に利用できるよう、健康福祉センターの機能強化を図ります。



8,228万円
子育て世帯に寄り添う支援の強化
幼稚園副食費の完全無償化や5歳児健康診査、多胎妊娠の妊婦健診支援事業を新たに実施します。



1億1,241万円
小中学校におけるICT環境の充実
児童生徒の1人1台端末を更新するとともに、校務DXに向けた教職員の職場環境を整備します。



複合施設内観イメージ
12億6,207万円
複合施設整備事業の推進
生涯学習機能・交流機能・交通機能を備えた複合施設の建設工事や外構工事等に取り組みます。



141万円
平和事業の推進
戦後80周年及び非核平和都市宣言40周年の節目の年に、戦争体験手記の発行などに取り組みます。



1億893万円
災害対策の強化
大型水槽車の更新及び防災行政無線等の整備を行い、災害対策の強化を図ります。

公共施設の長寿命化に向けた計画的な修繕の実施
公共施設等総合管理計画に基づき、施設の老朽化等による修繕の優先度を見極め、予防的修繕を行います。

【主な修繕内容】
・文化交流ホール「み・らい」の舞台設備等更新
・陸上競技場の第3種公認検定に向けた整備
・一巳小・中学校の体育館ウレタン塗装
・経済センター等のエレベーター修繕

2億7,487万円

会 計 名	予算額(万円)
特 別	
介護保険	242,800
国民健康保険	293,200
後期高齢者医療	46,900
企 業	
水道	82,410
下水道	164,980
病院	588,581

予算審査特別委員会での審査経過

3月4日の本会議で、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、村上議員が委員長に、山本議員が副委員長に就任し、4日間の委員会審査を行いました。

委員会では、各会計の担当課長等から予算の説明を受けた後、各委員が予算書や補足資料に基づき所管から聞き取りを行い、理解を深めるとともに疑問点を整理しました。その後、3月14日、17日、18日の議場での委員会においては162項目にわたる質疑を行い、18日には各会計について討論・採決を行いました。

3月21日の本会議において村上委員長より、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、病院事業会計の4件が賛成多数、そのほかの3件については全会一致で「原案のとおり可決すべきもの」との委員会報告が行われました。



村上予算審査特別委員長

新年度の予算が 決まりました



各会計総額 **338億1,871万円**
うち一般会計 **196億3,000万円**

第1回定例会 議案・審議結果のあらまし

3月3日開会の第1回定例会に提案された議案は、条例8件、令和6年度補正予算8件、令和7年度当初予算7件、報告1件、陳情1件、意見書2件、その他付議事件3件の合わせて30件でした。

うち、補正予算7件は初日に全会一致で可決。3月4日の本会議で提案された条例2件、その他付議事件2件は全会一致で可決。条例6件と当初予算7件、陳情1件、その他付議事件1件は、3月10日からの各委員会審査を経て、21日の最終日に全会一致あるいは賛成多数で可決したほか、陳情は慎重審査のため継続審査とすることに決定しました。

21日の最終日は、追加提案の補正予算1件、意見書2件を全会一致で可決しました。

第1回定例会に提案された議案の議決結果はホームページで確認できます。



議決結果

Pick Up

条 例 深川市こども子育て条例の制定について可決しました

全会一致

深川市で暮らす全てのこどもが伸び伸びと学び、健やかに成長できる地域社会の実現を目指すため、本市におけるこども子育て支援の基本的な考え方を示し、地域社会全体で子育てを応援していく機運を醸成することを目的として、こども子育て条例の制定について、3月4日の第1回定例会において提案があり、厚生文教常任委員会による審査を経て、3月21日の最終日に全会一致で可決しました。条例の主な内容について紹介します。

◆深川市こども子育て条例の概要

【前文抜粋】

大人がこどもを「地域社会の一員」として尊重するだけでなく、こどもの視点で対話し、互いに学び育ち、信頼関係を築くことで「地域の宝」であるこどもが愛情と信頼を実感することにつながります。

また、こども自身が郷土への誇りや愛着を抱き、地域社会に貢献したいという想いを持つことは、将来にわたり地域全体で子育てを行う機運を高めることにもつながります。

このため、地域に住む人々がそれぞれの役割と責任を自覚し、主体性を持ち、互いにつながりを深めながら、総合的な支援や権利の保障、子育て環境の充実を目指し、この条例を制定します。

条例の「基本理念と地域への誇り」

①～④に掲げる基本理念を地域社会全体で推進します。また、深川市で生まれ育ったこどもが本市特有の自然、文化、食、人柄に能動的かつ受動的に触れられる機会を提供するとともに、社会の変化や新しい文化を理解し、こどもと共に学び、育ち、地域への愛着を醸成するよう努めるものとします。

①医療、福祉、教育、交通、地域コミュニティなど様々な分野で継続的・重層的な支援を行います

地域への誇りと愛着を抱き
社会貢献の意識を育み
将来にわたり
地域全体で子育てを行う
機運を醸成します

③安心してこどもを生み育てることができ、その成長に喜びを実感できる環境を確保します

②こどもの思いや意見が尊重され、年齢及び成長に応じた利益が受けられるよう配慮します

④こどもがあらゆる差別や虐待などを受けることがないよう、こどもの人権を尊重します

こどもの権利と地域社会の役割

こどもの権利、市の責務、保護者・市民等・学校等・事業者の役割については、市ホームページから確認できます。



こどもの意見が条例に反映されました

市内在住の中学生や高校生を対象にタウンミーティングが開催され、こどもの意見や思いが条例に反映されました。



こんなことを
審議し、決めました

条 例	新年度予算	補正予算※	議員発議	付議事件※
10件	7件	13件	1件	6件

※補正予算 年度当初の予算（当初予算）に、追加・その他の変更を加えるために提出される予算
※付議事件 本市議会だよりでは、議案のうち条例、予算、議員発議以外のものを付議事件としています。

Pick Up

深川市民5つの誓い 深川市民5つの誓いの改正について可決しました

全会一致

深川市民5つの誓いは、昭和38年に新しい都市を築くための道しるべとして制定されましたが、制定後、60年以上が経過していることから、推進内容や各項目の趣旨を現代の考え方も反映された表現に改めることについて、3月4日の第1回定例会において提案があり、全会一致で可決しました。主な内容について紹介します。

◆深川市民5つの誓い

わたくしたちは、深川市の市民であることに誇りと責任を感じ、この「5つの誓い」をかかげて日々実践し、よりよい深川のまちをつくることに努めあいましょう。

【趣旨】

わたくしたち深川市民は、くわをふるって本市の礎を築いた先達の偉業を称えるとともに、その不屈の精神を受け継いで、誇り高い深川の発展のために、一層力を合わせ努めあわなければならない責任があると強く感じます。

わたくしたちは、融和と協力により、市民が一丸となり、この「5つの誓い」を掲げて、ともにその歩みを進めたいと思います。

1. 元気で働き豊かな産業のまちをつくりましょう。
1. 互いに助けあいあたたかくしあわせなまちをつくりましょう。
1. きまりを守り明るく住みよいまちをつくりましょう。
1. 教養を高め、美しい文化のまちをつくりましょう。
1. 郷土を愛し、のびゆく平和なまちをつくりましょう。

<外部有識者による検証>

・外部有識者等6人で構成する深川市民5つの誓い検証委員会における検証の結果、各項目の趣旨など、一部について見直しが必要と判断されました。

<改正のポイント>

・5つの誓いの趣旨については、時代経過を反映するとともに、文章を簡略化し、幅広い世代に親しまれる表現に見直しました。
・推進内容については、新たな考えも加え、内容が伝わりやすいよう具体的な表現に見直しました。

※5つの誓いの趣旨と推進内容は、市ホームページから確認できます。



第1回
臨時会

第1回
定例会

市民5つの誓い改正・こども子育て条例制定

Pick Up

総務経済

地域おこし協力隊との意見交換会を開催しました

深川市議会では、幅広い団体・市民の皆さんと意見交換を行い、その意見を議会運営に反映することを目的に意見交換会を開催しており、今回は総務経済常任委員会において、2月12日に地域おこし協力隊の皆さんとの意見交換会を開催し、多数の意見をいただきました。



【意見交換会で出された意見】

●協力隊から見た「深川市」の魅力について

- ・公共交通やスーパーが多く、札幌や旭川に近くて便利
- ・郊外の自然が豊かで、観光客が少なく静かに過ごせる
- ・人々が温かく、四季折々の美味しい食べ物が楽しめる

●深川市をよりよいまちにするには

- ・名物料理やそば店の設置、花火大会の実施方法の改善などにより地域の魅力を高める
- ・市営住宅の空室活用、移住希望者向けの住宅の整備
- ・農業のハードルを下げる取組、若者の農業参画促進

●その他（自由意見）

- ・テレワーク需要が多いため、コワーキングスペースの確保が必要
- ・新規就農者の農地取得に課題を感じる
- ・有害鳥獣の捕獲数に応じたインセンティブ制度やジビエ活動による収入の安定化を図りたい

Pick Up

議会改革

タブレット端末の導入による議会のペーパーレス化について検討を進めるため行政視察を行いました

議会改革特別委員会では、2月20日に留萌市及び当麻町を訪問し「タブレット端末の導入による議会のペーパーレス化」について、各市町の取組内容を調査しました。

留萌市及び当麻町では、全議員に各1台のタブレット端末を貸与し、議案等の配付資料を全てペーパーレス対応としているほか、事務局と議員の連絡調整、SNSでの広報活動などにタブレット端末を活用し、業務の効率化や議会活動の活性化に取り組んでいます。

導入に当たってのポイントはココ！

- ・ICT専門部会の設置により調査、研究を進めた
- ・執行部と議員の双方でタブレット端末を導入
- ・操作が不慣れな議員でも扱いやすい会議システムの導入
- ・タブレット端末使用基準の整備

タブレット端末導入によるメリットは？

- ・従来の紙媒体を廃止することによって、印刷コストの削減、資料の即時共有など効率化が図られた
- ・膨大な資料の保管、検索がタブレット端末1台で可能となり、利便性の高い効果を実感



【意見書】

内閣総理大臣などに送付しました。

全会一致

- 食料安全保障の強化に向けた次期食料・農業・農村基本計画及び酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針の改定を求める意見書
- 持続可能な学校の実現をめざす意見書

 賛否が分かれた議案		議員名（議席番号順）														議決結果▼
		伊藤美恵子	新田 旺	有働 正夫	村上 誠	松原やす子	佐々木一夫	大前 昭代	田畑 陽美	北村 薫	近沢 弘幸	鶴岡 恵司	宮澤 孝司	松本 雅祐	山本 時雄	
第Ⅰ回定例会	令和7年度深川市一般会計予算	○	○	○	○	●	●	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
	令和7年度深川市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	●	●	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
	令和7年度深川市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	●	●	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
	令和7年度深川市病院事業会計予算	○	○	○	○	○	●	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
	深川市税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	●	●	○	○	○	－	○	○	○	○	可決

※賛成＝○、反対＝●、近沢弘幸議長は採決に加わりません。

Pick Up

地方創生

特別委員会で人口ビジョン・総合戦略を審査しました

深川市では、国が目指すデジタル田園都市国家構想の実現に向け「**深川市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン＜改訂版＞**」と「**第3期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略**」を策定しました。

この計画策定に当たっては、深川市議会においても十分な審査を行うため、令和6年12月5日に地方創生特別委員会を設置し審査を重ね、7年2月17日の第4回委員会では、関係所管の部課長出席のもと各委員が質疑を行い、最終回となった3月18日の第5回委員会においては、パブリックコメントの結果や最終的な計画案について確認し調査を終了しました。

その後、3月21日の第1回定例会最終日において、北村地方創生特別委員長より委員会での審査の経過と概要を報告しました。

＜委員会での調査経過＞

- ・第1回（令和6年12月5日） 正副委員長の決定
- ・第2回（令和6年12月16日） 策定方針やスケジュール等の調査
- ・第3回（令和7年1月24日） 計画素案、アイデア提案に対する検討結果等の調査
- ・第4回（令和7年2月17日） 計画素案に対する質疑
- ・第5回（令和7年3月18日） 最終的な計画案等を確認し調査を終了

＜主な質疑＞

- ・合計特殊出生率が全国平均を上回っている要因と人口動態の傾向
- ・自然や森林に対する市民の関心を高める取組
- ・主食用米と輸出米の手取り価格の差を解消するための対策
- ・MaaSの導入等を含めた公共交通の確保対策
- ・児童生徒の学力向上等への対策
- ・カーボンニュートラルの推進状況と新たな事業展開



北村地方創生特別委員長

第1回定例会で行った10人の議員の一般質問を紹介します。



伊藤美恵子 議員
「民主クラブ」

拓大の募集停止に係る対応 施設の有効活用に向け連携

◎ 拓殖大学北海道短期大学が閉校となった後、広大な実習農場を含む敷地や校舎を他の教育機関へ引き継ぐことを大学側は希望している。市としてはどのように協力していくのか、今後の対応を伺う。

側は農業を学ぶ上で最良の環境である現在の施設を他の教育機関へ引き継ぐことを希望しており、農業を基幹産業とする本市としても、引き続き農業教育が行われることは望ましいと考えています。そのため、当該教育施設の有効活用に向け、大学側と十分な連携を図るとともに、この対策に向けた庁内体制の整備も合わせて検討していきます。

ネーミングライツ制度導入の考えは ◎ 企業が公共施設等に名前や愛称をつける権利を契約するネーミングライツ制度は、多くの自治体で取り組まれており、施設の維持管理の財源に充てられている。本制度の導入について市の考えを伺う。

◎ 当該制度の導入は、一定の収入が確保できる一方で、スポンサー企業の選定に伴う公平性や透明性の確保、施設名称の変更が市民感情に与える影響、加えて看板やパンフレットの記載変更が必要となるため、広告としての費用対効果などの程度見込めるのかなど、市と企業の双方に様々な課題があります。今後、当該制度を含む市の収入増を図る手法について、先進事例を参考にしつつ幅広く調査研究していきます。

拓殖大学北海道短期大学HP



拓殖大学北海道短期大学



鶴岡恵司 議員
「公政クラブ」

道の駅と地域連携の取組は 効果的な管理運営を研究

◎ 道の駅は地方創生や観光の拠点として重要であり、地域と道の駅の連携が重要とされている。事業の共通点が多い道の駅・アグリ工房まあぶ・山の駅等の将来的な連携について、市の考えを伺う。

◎ 3つの施設はそれぞれ異なる機能を持ちながらも、地域産業の活性化や交流促進といった共通の目的を有しており、その特徴を活かした取組を進める上で、一体的あるいは横断的な管理運営を含めた連携は重要な視点と認識しています。この認識を持ちつつ、地域全体の活性化に向けて、引き続き観光分野を中心とした相乗効果が発揮される取組の検討や、より効果的な管理運営についても研究していきます。

災害時の市民向け行動マニュアルを ◎ 災害時には、自らの身を守る自助、近隣の皆さんが協力して地域を守る共助が極めて重要である。簡潔な内容の市民向け行動マニュアルを作成し、全戸配布する必要があると思うが、市の考えを伺う。

◎ 市では、災害発生時に市民一人一人が主体的に避難し、自らの安全を確保できるよう、令和2年に防災ガイドブックを全戸配付しており、災害発生時における自助や共助の行動に関する情報を提供することを周知しています。この防災ガイドブックは発行から5年が経過しており、自助や共助の行動マニュアルとして市民の皆さんが利用しやすい内容となるよう、改訂に向けた検討を進めていきます。

道の駅ライスランドふかがわHP



道の駅ライスランドふかがわ



まつもとまさひろ 議員
「令和公明クラブ」

デジタル遺品トラブル防止 終活の重要性を普及させる

◎ 故人が利用していた有料のインターネットサービス等が解約されず、遺族に請求が届くデジタル遺品のトラブルが増えている。トラブル防止のためにエンディングノートの活用を推進してはどうか。

◎ エンディングノートは、家族や大切な人への情報を伝える手段として有用とされており、市ホームページにて、無料で利用することができ、法務省が作成したエンディングノートを紹介しています。終活の準備は、家族や大切な人と話せるうちに進めることが重要であることを広く普及させていくとともに、エンディングノートについて相談があった際は、デジタルデータなどの問題も含め相談対応に努めます。

医療用ウィッグ等の購入費の助成 ◎ がんに罹患された方は治療による乳房切除や脱毛、爪の変形など外見の変化に悩んでいる。自

分らしく安心して社会生活が送れるよう、ウィッグや胸部補整具等の購入費助成を実施する考えを伺う。

エンディングノートの紹介：市HP



医療用ウィッグのイメージ

長会では、アピアランスケアの支援の必要性について協議し、財源確保が共通の課題であることから、北海道市長会を通じて必要な財政措置について国へ要請する準備を進めています。永続的な事業実施を実現するため、引き続き様々な検討を行っていきます。



おおまえあきよ
大前昭代 議員
「民主クラブ」

生きるための支援対策は 気軽な相談体制構築を検討

◎ 誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現には、包括的な支援が重要で各課や各組織の連携、認識の共有が必要だが、どのような取組を行っているか。また、現状を踏まえた今後の展望を伺う。

関連施策は、深川市自殺対策推進連絡会議において進捗状況を確認し情報共有を図っていますが、自殺に関する知識や意識に差があるため、多くの職員がゲートキーパーの知識を身につけることが重要と考えます。今後、ゲートキーパー養成講座や講演会などを継続する

とともに、悩みを抱えた方が専門家へ気軽に相談できる体制の構築についても検討を進めます。

◎ 外国国籍を持つ方への日本語教育支援が必要で、特に義務教育年齢の子供たちへの支援は急務

サポーター強化や翻訳アプリの普及により、平成30年以降要請はありませんが、在留外国人の方に安心して生活してもらうためには地域住民とのコミュニケーションが重要なため、深川国際交流協会と連携し支援のあり方を検討し、地域全体の理解を促進します。

深川市のいのちを支える自殺対策行動計画：市HP



日本語講座のイメージ



たばはるみ
田畑陽美 議員
「民主クラブ」

地域おこし協力隊の副業は 事前申請により副業は可能

◎ 地域おこし協力隊としての任期終了後も定住や仕事につながるため、任期中に副業をする隊員が増えており、地域での起業につながる事例も数多く見られる。本市における任期中の副業に関する考え方を伺う。

◎ 現在、本市で活動している地域おこし協力隊の任用形態はパートタイム会計年度任用職員で、営利企業への従事制限の対象外であり、事前申請により副業が可能です。隊員の任期中の副業は、起業や就業に向けた準備となり、ひいては任期終了後の本市への定住につながる可能性もあることから、情報交換会などを通

じて、隊員が副業を希望する場合の申請方法などについて、情報提供を行っていきます。

◎ 地域おこし協力隊の任期は、多世代にわたる方が参加できるように、農繁期を避けた開催や公式LINEによる幅広い年齢層

固定化が見られる。将来を見据え、世代を問わず、多くの方に参加してもらうための取組について伺う。

地域おこし協力隊：市HP



地域おこし協力隊「納内経由」の様子



やまもとときお
山本時雄 議員
「令和公明クラブ」

デマンド交通について 高い稼働率で利用者が定着

◎ デマンド交通「納内経由」は、2年6か月の実証実験を経て、令和6年4月からは本格運行となり、間もなく1年が過ぎようとしている。これまでの経過と現在の状況について伺う。

数364人、稼働率61%で、実証実験の際の稼働率は30%付近の非効率な運行でしたが、本格運行後は運行日の集約により高い稼働率となり、安定した運行が続いています。現在では利用者の定着化が図られ、通院や買物で定期的に利用する方も増えていることから、今後

も地域の生活交通として維持できるよう努めていきます。

◎ 観光振興について
訪日外国人が増加しており、近隣でもスキー場の大規模リゾート構想が報道されるなど、今後は外国人観光客に目を向けた観光振興が大切であ

る。観光振興の現在の取組状況と今後の考えを伺う。

デマンド交通「納内経由」：市HP



デマンド交通「納内経由」の様子



きたむら かおる 議員
北村 薫 議員
「公政クラブ」

留萌本線廃線後のバス転換 既存・新規路線バスを運行

◎ JR留萌本線が廃線となる令和8年3月まで残すところ1年となった。廃線後の代替交通について、これまでもJRや沿線地域などと協議していると思うが、バス等への転換の見通しについて伺う。

議した結果、平日は既存の路線バス11便と新規8便の計19便を運行、土曜・休日は既存6便と新規7便の計13便を運行することなどがまとまり、各自治体の首長に了承を得てJR北海道と合意しました。一方、北一已駅周辺の方に対する代替交通は、利用人数などを勘案

するとバスでの代替交通は現実的ではないことから、タクシー助成を視野に入れ、検討を進めています。

フラ老朽化の課題が浮き彫りとなった。本市にも整備から年数が経過している上下水道管があると思われるが、点検と更新の計画を伺う。

超過しており、国等が行う道路事業などと連携しながら効率的かつ経済的に更新を進めています。また、下水道管の耐用年数は50年と定められ、令和5年度末時点で全体の0・01%が耐用年数を超過しており、水道管と同様に更新を進めていく考えです。

水道・下水道事業の経営に関するお知らせ：市HP



令和8年3月31日に廃線となるJR留萌本線



まつばら こ 議員
松原やす子 議員
「日本共産党」

マイナ保険証利用登録解除 申請時に資格確認書を交付

◎ 令和6年12月2日に従来の健康保険証の新規発行が終了した。マイナ保険証を上手に使うことができず、利用登録の解除を希望する方もいると思うが、解除申請の実績と手続所要時間について伺う。

除申請の受付を開始した令和6年11月から7年2月末までで国民健康保険が10人、後期高齢者医療が33人となっており、手続は解除申請と同時に完了します。手続後は、令和7年7月末まで有効な保険証または資格確認書により医療機関を受診できますが、解除申請の受

付時に有効な保険証等の保有状況を確認し、保有していない場合は資格確認書を交付しています。

基本法でも予防の重要性は強調され、助成を実施する市町村は増えてきているが、市としての考えを伺う。

ら、生活習慣の見直しなど、介護予防に関する市民周知を強化していきます。また、補聴器購入助成について、全国市長会などを通じた要請活動にも取り組み、国の動向や他自治体の実施状況も注視し、どのような方策が可能か引き続き検討していきます。

マイナ保険証利用登録の解除申請書について：市HP



マイナンバーカードの見本



にあき 議員
新田 旺 議員
「民主クラブ」

深川市技を拡充する考えは 排球と卓球の2種目を継続

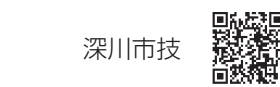
◎ 深川市技は昭和45年の制定以来、競技が追加されたことはない。近年、本市では野球やサッカー、陸上競技などのスポーツも盛んであり、市技に追加してはどうかと考えるが、市の見解を伺う。

体種目のバレーボールと、個人種目の卓球の2種目を制定したものであり、先人たちの努力と本市のスポーツ施策の歴史を振り返る上でも大変重要なものと認識しています。今後、この2種目を本市のスポーツの象徴として位置づけるとともに、スポーツ都市宣言に基づ

き、あらゆるスポーツの振興と発展に努めていきます。

訓練などの防火対策は重要であると考え。訓練の実施について市の見解を伺う。

訓練の実施や火災時の職員の役割、各係の任務分担や指揮系統を定めた自衛消防組織、火災が発生した際の避難経路図などを定めていますので、新庁舎の防火設備の使用方も含めた定期的な訓練の実施などを通じて、職員の防火意識の向上に努めます。



深川市技のバレーボールと卓球

掲載以外の質問項目

質問内容は、深川市議会YouTubeチャンネルやホームページの一般質問通告表で確認できます。

深川市議会
YouTube
チャンネル



一般質問
通告表



■伊藤美恵子 議員

- ・2024年度予算執行状況について
- ・2024年度市立病院の経営状況について

■鶴岡 恵司 議員

- ・水田政策の見直しについて
- ・地域での助け合い、支え合いについて
- ・ふるさと納税について

■松本 雅祐 議員

- ・子供たちの文化芸術鑑賞等の機会について
- ・特定健診・がん検診の受診率向上の取組について
- ・深川市学校教育振興計画について

■大前 昭代 議員

- ・災害時のやさしい日本語について
- ・将来を見据えた高齢者支援について

■田畑 陽美 議員

- ・こども食堂等の支援の取組について
- ・担当所管を越えた連携について

■山本 時雄 議員

- ・災害備蓄品の状況について
- ・使用していない各学校のプールについて
- ・空き家対策について

■北村 薫 議員

- ・小学校配置に関する深川市民の意見を聴く会について
- ・市道の整備状況について

■松原やす子 議員

- ・災害・防災対策について

■新田 旺 議員

- ・適材適所の人事配置について

■佐々木一夫 議員

- ・情報公開請求について
- ・空き家の解体助成について
- ・建築工事の落札率について
- ・深川市の財政状況について
- ・町なかの危険建築物について
- ・市内そば店について
- ・旧深川保育園及び市営住宅の解体について
- ・火災住宅跡の放置について



さ さ き か ず お
佐々木一夫 議員
「れいわ新選組」

複合施設建設費高騰の想定 高騰を想定した実施設計

◎ 駅周辺複合施設、市役所新庁舎、深川中学校の単位面積当たりの建設費の比較を伺う。また、他市では建設費高騰で再検討する例もあるが、建設費がさらに高騰しても複合施設工事は見直さないのか。

▲ 1平方メートル当たりの建設費は、深川中学校が約32万円、市役所新庁舎が約58万円、複合施設は実施設計段階で約75万円となっています。施設の用途や設備等が異なるため一概には比較できませんが、近年の社会・経済情勢における資材の高騰や労務単価の上昇等が、増額の大きな要因と考えられます。実施設計

は、物価上昇を見込んだ建設費を想定しており、予定どおり複合施設の建設事業を進めていく考えです。

な解体となる、制度の見直しを検討されている。本市における、直近1年間の実績に照らした影響人口と負担金額の推計値を伺う。

▲ 医療費の自己負担額を一定の額にとどめる高額療養費制度は、現役世代の保険料負担軽減を図る観点から、上限額の引上げ等について国で議論が進められています。制度内容は確定していませんが、例として、国民健康保険加入者のうち、70歳未満の場合、直近1年間の高額療養費の推計では、本市の影響人口は約340人、自己負担額は全体で年間約105万円増加する見込みです。

深川駅周辺複合施設建設実施設計の策定：市HP



複合施設の外觀イメージ

令和6年度政務活動費収支報告

議員の調査研究等の活動に資するために必要な経費の一部として、議員1人当たり年額12万円までを会派に対し政務活動費として交付することができます。

令和6年度の各会派における政務活動費の収支内訳は以下のとおりです。

(単位：円)

会 派	収入 (交付限度額)	支 出	調査研究費 及び要請・陳情活動費 (主な内容)	研修費 (主な内容)	広報費	資 料 購入費
公 政 クラブ [5 人]	600,000 (600,000)	600,000	569,916 10月16日～18日 ○創志学園高校視察 (岡山県) ○第86回全国都市問題 会議 (兵庫県) 11月18日 ○北海道庁要請活動 2月5日～7日 ○国会議員要請活動ほ か	0	0	30,084
民 主 クラブ [4 人]	356,035 (480,000)	356,035	231,466 4月9日 ○エコパーク三笠視察 (三笠市) 10月8日～10日 ○紫波町オガールプロ ジェクト視察 (岩手 県) ほか	109,890 7月11日 ○人口問題対策を考え る講演会 (札幌市) 1月30日、 2月13日～14日 ○地方議会セミナー (オンライン研修)	11,379	3,300
令和公明 クラブ [3 人]	360,000 (360,000)	360,000	0	360,000 5月30日～31日 ○第16回日本自治創造 学会研究大会 (東京 都) ほか1件	0	0
れいわ 新選組 [1 人]	120,000 (120,000)	120,000	0	0	120,000	0
日本共産党 [1 人]	49,400 (120,000)	49,400	0	48,000 9月25日 ○市町村議会議員研修 会 (オンライン研修) ほか1件	0	1,400

※政務活動費に充てることができる経費の範囲は条例等で定められています。
実績報告書や収支報告書の詳細はホームページで確認できます。

政務活動費



深川市議会YouTube
チャンネル



深川市議会
公式ホームページ

問合先：深川市議会事務局内

〒074-8650 深川市2条17番17号
電話0164-26-2282 (直通)